

国際交流事業

国際交流きらめき阿蘇キャンプ

[主催] 国立阿蘇青少年交流の家

[共催] 熊本大学国際交流サークル「C3」

[期 日] 令和元年11月9日(土)～11月10日(日) 【1泊2日】

[活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家

[参加者] 87名(日本人学生41名 留学生46名)

[担当職員] 前田 夢依(事業推進係員) 萱野 太一(事業推進係員)
橋本 抄織(事業推進事務補佐員) 山川 昇椰(事業補佐員)
猪島 幸(事業支援室専門職員)

1 趣 旨

熊本県内の大学に在学している留学生と日本人学生が交流できる場を提供することにより、国際社会に向けた学生の視野を広げるとともに、相互の異文化理解と交流を図る。また、持続可能な共生社会の実現に貢献し得る態度を養うとともにグローバルな視点を備えた次世代リーダーの育成を図る。

2 目 標

- 留学生や日本人学生が交流できる場を提供することにより、国際社会に向けた学生の視野を広げるとともに、相互の異文化理解と交流を図る。
- 持続可能な共生社会の実現に貢献し得る態度を養うとともにグローバルな視点を備えた次世代リーダーの育成を図る。

3 事業展開

研修プログラム

	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
11月9日 (土)				受付	バス移動	開会式	屋食		オリエンテーリング		休憩	夕べのつどい	夕食・休憩	交流会	片づけ	入浴	就寝準備	就寝

	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
11月10日 (日)		朝のつどい	朝食	退所点検	野外調理 高菜飯・だご汁			閉会式	バス移動	阿蘇ファームランド		バス移動	解散					



4 成果と課題

(1) 成果

- ・アンケートから「たくさんの外国の方と話せてとてもいい経験ができた」「共通の感覚と、共有していない感覚・価値観に触れることができた」「この事業が終わった後も交流が続くように努力しようと思う」といった感想が見られた。今回のキャンプが参加者にとって有意義な時間であるとともに、今後の交流や外国語学習の意欲向上に働きかけることができ、一過性の成果に留まらない様子が伺えた。
- ・熊本大学「国際交流サークルC3」の学生を主体とした企画運営を行うことで、学生のニーズに即した事業を展開することができた。また、前年度の反省点を踏まえ、食事や入浴、その他生活面の配慮を細やかに対応することで、当日の運営も円滑に行うことができた。

(2) 課題

- ・野外調理時に説明を行う職員は、計画時2人で対応予定だったが、急遽対応ができなくなったため、1人で指導を行った。結果として薪割りの指導と調理の指導を同時に行うことができず、時間の無駄が生じ、手持無沙汰な学生の中には、周辺を歩き回る者もいた。留学生も多数含まれるため、時間短縮・安全管理の観点から指導を担当する職員は複数人配置が必要である。